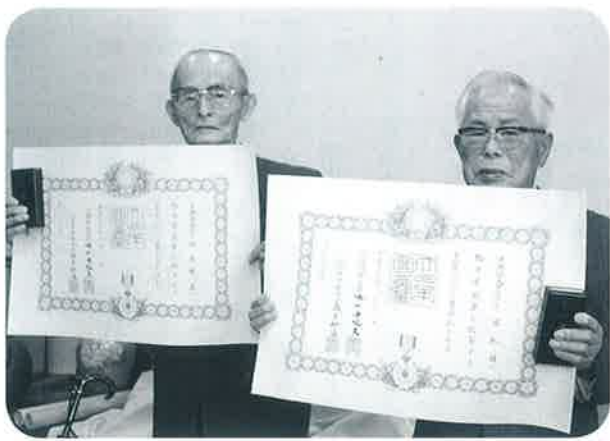


おめでと〜いございます！旭日単光章

長年町議会議員として活躍されていた小西紀緒さん（上木料）・林原繁康さん（上前谷）のおふたりは、ともに大正11年のお生まれで、このたび88歳の米寿を迎えられました。これを機会に、おふたりの長年の地方行政に対するご功績を讃え、高齢者叙勲として旭日単光章が贈られました。



▲賞状と勲章を手にする小西紀緒さん（右）・林原繁康さん（左）。「世の中のためになりたい」と今後の抱負を力強く述べられました。

小西さんは昭和53年4月から平成2年4月までの3期12年間、林原さんは昭和61年4月から平成14年4月までの4期16年間を、旧名和町議会議員としてご活躍されました。

おふたりは「いつの間にか88歳を迎えたが、まだ88歳という感覚はない。今回の叙勲を期に、これからも世の中のできるだけ尽くして行きたい」と叙勲の喜びを述べられました。

消防協力者に感謝状

野口勇次さん（蔵岡）は1月16日（土）に大山町内で発生した住宅火災を発見し、燃える住宅の中から幼児を救出しました。救出後すぐさま119番通報するとともに、野口さんは地元消防団に加わり消火活動を行いました。

この結果、幼児は大事に至らず、延焼もくい止めることができました。これら機敏な行動力と的確な判断力は、他の地域住民の模範であると評価され、2月12日（金）、西部広域行政管理組合浦木昇消防局長から消防協力者として感謝状が贈られました。

野口さんは、「人命を救助でき良かった。今回の経



▲桑名強大山消防署長（左）から感謝状を受けとる野口さん。（右）

験を自衛消防団の訓練に活かし、災害に備えたい」と感想を述べられました。

日本海新聞ふるさと大賞受賞



▲賞状と副賞を手にする受賞者のみなさん。（左から勝部さん、松本さん、別所自主防災会小村会長。参列者は左から寺谷寛日本海新聞社取締役西部本社代表、手島弘美日本海新聞下市販売所長、森田増範大山町長、伊澤桂子日本海新聞名和専売所通信員）

2月24日（水）名和公民館で地域の元気を目指す「日本海新聞ふるさと大賞」の授賞式が行われました。「地域貢献賞」部門には別所自主防災会（小村和彦会長）「スポーツ功労賞」に松本洸太夫さん（羽田井）勝部浩平さん（大塚）のお二人が受賞されました。

別所自主防災会は、誤って食べ物をのどに詰めた方に、適切な処置と通報で人命救助された功績が認められました。

また松本さんは第36回、中国中学校陸上競技選手権大会中3男子100m、200m両方に優勝するなど活躍が、勝部さんは鳥取県小学校陸上大会5年男子ソフトボール投げに優勝などの活躍が、今回の受賞につながりました。